

レスメド Lumis HFT の付属品 加温チューブ (AIR10 スタンダードチューブ)

【警告】

- ・ 本品の使用中は、2m 以内の場所に火を近づけたり、喫煙したりしないこと。[酸素使用中の裸火及び喫煙は、本品への引火、及び着衣への着火の原因となり、火災、火傷及び死亡につながるおそれがあるため。]
- ・ 本品を用いた治療の開始前は、装置本体への酸素供給を停止したままにしておくこと。[装置本体及び本品内に酸素が滞留すると、火災の原因になるおそれがあるため。]
- ・ 装置本体の乾燥モードが開始される前に、装置本体への酸素供給を停止すること。[装置本体及び本品内に酸素が滞留すると、火災の原因になるおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】

- 併用医療機器「相互作用の項参照」
 - ・ 核磁気共鳴画像診断装置(MRI 装置)[マグネットガントリーへの吸着により患者・操作者が負傷するおそれがあるため。]
 - ・ 人工鼻[人工鼻のフィルタは、加温加湿器との併用により閉塞し、換気が困難となるおそれがあるため。]
- 使用方法
 - ・ 生命維持目的での使用。[本品は生命維持装置に用いることを目的としていない。]
 - ・ 自発呼吸のない患者への使用。
 - ・ 気管切開チューブを接続した侵襲的な使用。
 - ・ Lumis HFT との併用時におけるマスクを接続した使用。

【形状、構造及び原理等】

1. 概要

本品は、装置本体から送気されるエアを患者に供給する。チューブ内に装備された加温ワイヤで加熱することにより、結露を防止し、適切な温度・湿度のエアを患者に供給する。
体重が 30kg を超える患者を対象としている。

2. 外観図



型番:37296、長さ:約 2m

【使用目的又は効果】

患者への供給ガスを加温及び加湿すること。

【本品の使用目的】

装置本体から送気されるエアを加温して患者に供給する。

【使用方法等】

併用する装置本体の注意事項等情報(電子版の医療機器添付文書)を参照。

* 【使用方法等に関連する使用上の注意】

- ・ 装置本体を設置する際は、患者の頭部より低く、安定した場所に設置すること。[加熱された水が本品から患者に流れるおそれがあるため。]

- ・ 装置本体、本品、AC アダプタ及び DC アダプタが衣服、寝具等で覆われることがないように注意すること。[内部に熱がこもり、本品が過熱するおそれがあるため。]
- ・ 本品は、患者の頭部及び頸部に巻き付かないように注意して配置すること。
- ・ 酸素は、必ず装置本体の低圧酸素接続口から供給すること。[コネクタ等を利用して他の箇所から供給すると、送気されるエアの流量、温度及び湿度に影響するため。]
- * 本品の使用中は、閉塞が発生していないかどうか、患者の状態に応じて定期的に確認すること。
- ・ 治療終了後は、患者から鼻カニューラを取り外したのち、次回使用時の準備のため、乾燥モードで本品及び鼻カニューラの乾燥を行う。
- ・ 乾燥モードによる本品及び鼻カニューラの乾燥中に、鼻カニューラを取り外さないこと。[十分な乾燥が行われないおそれがあるため。]

【使用上の注意】

- 重要な基本的注意
 - ・ 本品及び鼻カニューラの接続部に注油をしないこと。[引火及び火災発生による危険を避けるため。]
- 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)

【併用禁忌】(併用しないこと)

医薬品・医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
核磁気共鳴画像診断装置(MRI 装置)	患者・操作者が負傷する。 [措置方法]本品を検査室に持ち込まないこと。	静磁場の影響により、本品がマグネットガントリーに吸着される際に、患者や操作者にぶつかる。
人工鼻	換気が困難となる。 [措置方法]併用しないこと。	人工鼻のフィルタが、装置本体との併用により閉塞する。

【併用注意】(併用に注意すること)

医薬品・医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
指定外の鼻カニューラ、及びその他の付属品	意図した性能が得られない。患者・使用者が負傷したり、機器が破損したりするおそれがある。 [措置方法]指定されたもののみを使用すること。	部品が機器に影響する。

【保管方法及び有効期間等】

- 耐用期間
6 ヶ月[自己認証による。]
- 貯蔵・保管上の注意事項
直射日光を避け、以下の環境で保管すること
 - ・ 周囲温度: -20℃～60℃
 - ・ 相対湿度: 5%～95%、結露なきこと。

【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書を参照すること。

- 使用者による保守点検事項
 - 1) 毎週
本品の洗浄。洗浄の際、エアチューブラップは本品から取り外すこと。

装置本体の取扱説明書を必ず参照すること。



2. 消毒

医療機関において、本品を複数患者間に使用する場合には、以下の方法、又は各医療機関にて定められた方法にて消毒すること。

1) 熱湯消毒 [当社データによる]

条件	耐久回数
熱湯 75℃、30 分	26 回

2) 薬液消毒 [当社データによる]

条件	耐久回数
フタラール 0.55%液、12 分	26 回
Gigasept FF 5%、15 分	26 回

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:レスメド株式会社

電話番号:03-5829-4410

製造業者:ResMed Pty Ltd (レスメド ピーティーワイ リミテッド)

国名:オーストラリア